収入源としての
ＦＸ投資

村上＠アイフォテック

目次

【　目　次　】

（１）はじめに

（２）概略

（３）レバレッジ取引

（４）相場が動く原理

（５）トレンドを理解する

（６）急激なトレンドに対する対策

（７）お薦めの証券会社

（８）お薦めの勉強教材

（９）終わりに

（10）奥付

はじめに

インターネットが世に出てきてからあらゆるものが激変していきました。

詐欺まがいの情報で泣いた人もかなりいます。

「私と同じことをやれば、あなたもすぐに１００万円です」

とか書かれただけのレポートが一枚だけ。

「このくそったれー！　ぶっ殺してやる！！！！」　と怒り狂った人もかなりいたと聞きます。

私は、９,０００円の詐欺商材にあったのが一つです。

他にも似たり寄ったりのものに手を出して・・・

「俺もバカじゃないのか（T_T)」　と思ったことが数回（笑）

しかし、詐欺教材だけではないのは本当です。

本物に出会ったのは自分がかなり後になってからです。

多分、騙されまくってその分成長したのかもしれません。

かなり無駄遣いして気がして仕方ありませんが、しかし最終的に本物さんに出会えたことはラッキーでした。

そこから自分の周辺に色々と変化が出てきました。

前置きが長くなりました。

そんな教材に手を出しているよりは、投資で稼いだほうが早い、と思い最初に株式投資からスタート。

そして、ＦＸへと転換して、それも時間がかかりましたが、やっと稼げる手法を学び取りました。

皆さんは、そんな詐欺師に出会うことがないことをお祈りしています。

今はかなりそういう輩は減りましたが、いなくなった訳ではありません。

「誰？こいつ？」

という時は、ネットで調べまくってください。

検索しても一件も出てこないものは確実に怪しい人間と思った方が正解です。

（１）概略

ＦＸとはForeign Exchangeの略称で外国為替証拠金取引のことを言います。

銀行に外貨預金というのがありますが、あれを個人でやるようなものです。

内容は全然違いますが、アメリカドルを基軸にした外貨投資です。

投資対象には、アメリカドル／円以外にもユーロ／円とかユーロ／米ドルと色々あります。

米ドル／円とかユーロ／ドルみたいに米ドルが対象になっているものが「ストレート通過」で

ユーロ／円とかポンド／円みたいに米ドルが対象でないものをクロス通過と呼びます。

これらは真ん中に米ドルを挟んでの取引ですが、
ここでは詳しく知る必要はないので説明は省略します。

（２）レバレッジ取引

レバレッジとは、

例えば１ドル＝120円の時に、銀行で1万ドルを外貨預金する場合、
120万円の資金が必要になります。

FXでは少額の資金で大きな取引が可能なため、最低約48,000円で1万ドル相当の取引ができます。
銀行の外貨預金と比較すると資金効率が最大約25倍です。

ＦＸが始まった初期はレバレッジ４００倍でやれていました。
今は２５倍です。
あの頃は投資法を知っている人は短期間で凄まじい額を本当の少額で稼いでいました。
やり方をろくに知らない私でも５万円を一週間で３０万円にしたことがあるほどです。
しっかりした投資法の知識を持っている方は、
更に凄くて、５万円を一週間で１００万円にした、という人も私は知っています。

それがレバレッジのすごいところでもあり、また怖いところでもあります。

知識が有る人は、そういう結果を出せました。

しかし、知識もないのに金が欲しいからという理由だけで取り組んだ人は結果は真逆です。
あの頃はＦＸに取り組んだ素人さんは破産する人が跡を絶たなかったようです。

私は少額でやってましたので、破産は免れましたが・・・。

（３）相場が動く原理

相場というのは人間が売買しているから発生するものです。
買い手が多ければ値段は上がり出します。
売り手だらけになれば下がります。
それが当然の理屈です。

相場の世界では、ダウ理論を知っている人と知らない人で大きな差が出てきます。
相場の世界に於ける市場動向というのがありますが、大きく分けると

（１）主要トレンド（１年から数年サイクル）
（２）二次トレンド（３週間から３ヶ月サイクル）
（３）小トレンド（３週間未満のサイクル）

がダウ理論に於けるサイクルですが、ＦＸではもう一つあります。

それが「１時間から１日未満のサイクルのトレンドです。

投資をする時は必ずローソク足と移動平均線を見ながらやりますが、
買いと売りがいるから相場は成り立つ訳で、価格変動もバランスを保っている訳です。

このバランスが崩れた時に起こるのが上昇トレンド、下落トレンドとなる訳です。

（４）トレンドを理解する

トレンドというのは、先行期、追随期、利食い期とあります。
これを無視すると利益が得られません。
このトレンドを正しく把握できるか否かで投資の結果に天地の開きが出ます。

では、実際どうやってそのトレンドを把握するのか。

トレンドというのは、素直に一直線で上昇とか下落をする訳ではありません。
鋸刃みたいな形で上昇、下落をしていきます。

上昇を例に挙げると、
上昇が一度止まり、少し下げだした後に再度上がり出すことがありますが、
その時に一つ前の転換ポイントを上抜いたら新しい上昇トレンドが始まる。

そういう見方をします。

逆に、上昇前の最安値を下げ抜いたら上昇トレンドが終わって下落が始まると見ます。

これを更にピンポイントで見ぬくために数々の指標を並列表記させて、短時間売買を実現させるのですね。

（５）急激なトレンドに対する対策

チャートを見ていると、時として凄まじい勢いで下げだしたり、
上げ出したりすることがありますね。

あれは動き出している時には決して飛び乗ってはいけません。

トレンドが生まれる時は、一定のルールが必ず当てはまります。

先ほど上昇を例にしたので、ここでは下げトレンドを例にあげます。

ギューンと落っこちるような勢いで下げだしている。

思わず「売り」を入れたら反転して急上昇してきて、
そのまま上げっぱなしになって、
追証が発生したかと思ったらすぐに強制損切りになった。

そういう人が多いかと思いますが、
そういうのは政府の何かの発表で動いているケースが殆どです。
暫くすると元の鞘に戻るケースが殆どです。

発表内容にもよりますが・・・。

トレンドになる時は、一度止まるポイントが出ます。
そこで相場が踊り場を形成しますので、そしたら「売り」を入れます。

ただし、ＣＣＩとＲＣＩなどの指標は確実にチェックした上での判断をします。

ここで格言。

「飛び乗るな！　危険！！」

すいません。
ジョークみたいな格言になってしまいましたが、
本当にそうなので飛び乗りだけはやめましょう。

（６）お薦めの証券会社

古くからやっている人は、メタトレーダーを使う人が多いので
海外証券会社をお薦めする人ばかりですが、
私は後続ですので日本の証券会社しか使ってませんし、
またメタトレーダーも使っていません。

楽天証券の「ＦＸ iSpreed」を使っています。

株式取引の時代に口座を持ったのでそのまま利用させてもらってます。
スプレッドも主要な通過ペアであればそれほど大きくはありません。

他に、ＧＭＯクリック証券にも口座を持っています。
ＧＭＯはＦＸとか株式、商品先物以外にバイナリーオプション（外為オプション）もあるので、
口座を持ちました。

バイナリーオプションとは何ぞや？と思ったことがあり、
それを勉強するために、この証券会社に口座を持ちました。

リンク集を準備しましたので、参考にしてください。

＞　【証券会社と勉強教材のリンク集】

（７）お薦めの勉強教材

色々と出回っていますが、私が実際に手にして信用できるものだけを紹介します。
かれこれ４年を超えるロングセラーとなっている「ＦＸ－Ｊｉｎ」さん。
そして、トレンドゲッターの「関さん」のお二人です。

他にも信用できる人はいるのでしょうが、如何せん、私が他の教材を購入した経験がないのでわかりません（＾＿＾；

このお二人に関しては先程のリンク集に掲載しておきましたので、参考にしてください。

＞　【証券会社と勉強教材のリンク集】

（８）終わりに

最期までお読み下さいまして、ありがとうございました。

ＦＸはレバレッジが２５倍と以前の１／１６に落ちてしまいましたが、
それでも稼げる力さえ付けば、これほど超即金性の高い収益源はありません。
そのためには確かな知識と技術が必要です。

安易に稼げるツールの類いには決して手を出さないでください。
稼げる人が使うのでしたら大丈夫ですが、自己裁量トレードで稼げない人が手を出すと、最終的に赤字で終わります。

トレンドが出ている時は素人でも稼げます。一定のルールを守りさえすれば。
しかし、レンジ相場（迷走相場）に入ると不穏な動きだらけで、さっぱり分からなくなります。
その時に稼げるためには、本当の知識が不可欠です。

是非とも、しっかりした知識を身につけて、安定した生活を手にしてください。
あなたが稼げれば、助けられる人が増えます。
家族のみならず、友達から会社の仲間から・・・。

最高の人生をお過ごしください。

著者　村上剛史（むらかみ　たかし）

収入源としてのＦＸ投資

http://p.booklog.jp/book/102723

著者：村上＠アイフォテック
ホームページ：　http://www.ai-photec.jp/
著者プロフィール：http://p.booklog.jp/users/ayc358/profile

感想はこちらのコメントへ
http://p.booklog.jp/book/102723

ブクログ本棚へ入れる
http://booklog.jp/item/3/102723

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社ブクログ